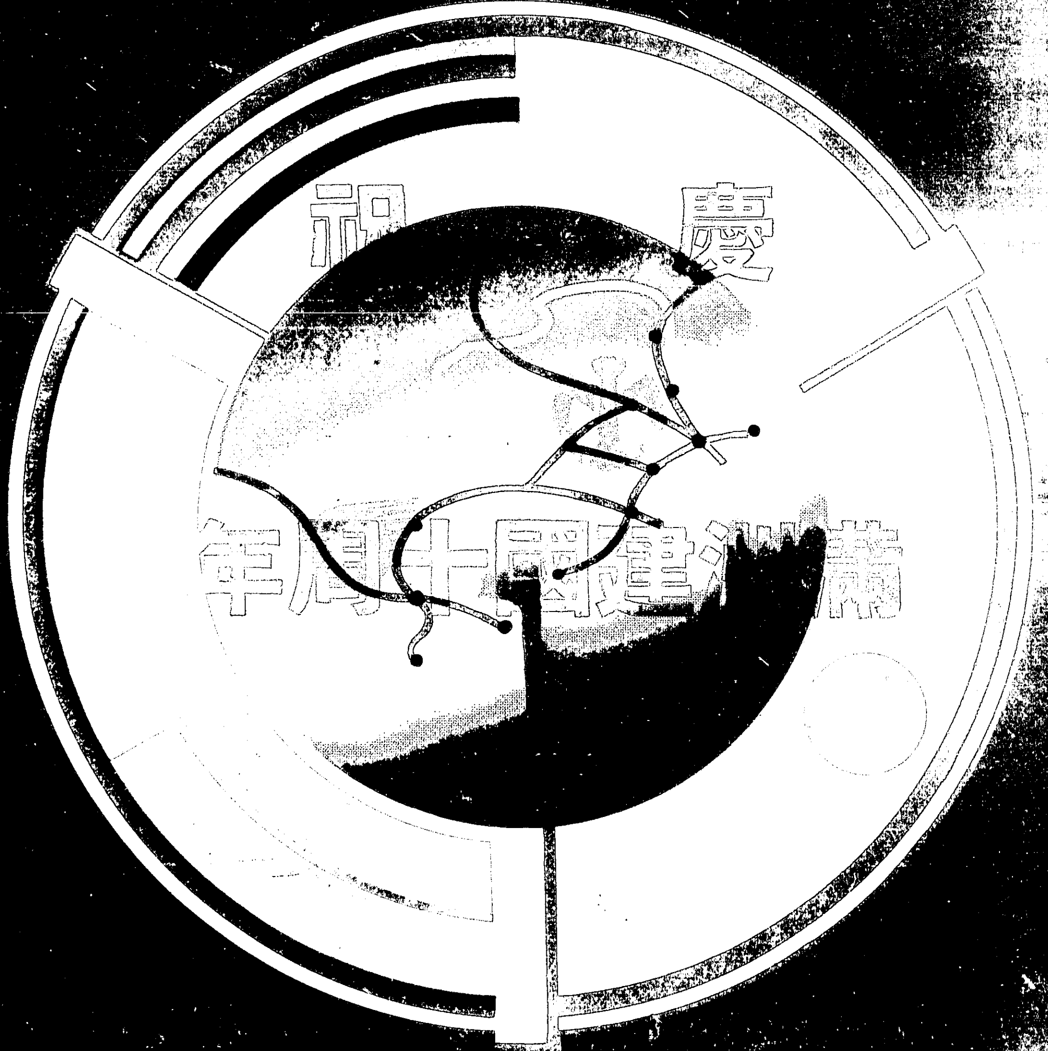
M-3-4-3

資料名	大陸情報　第８號
出所	滿鐵小樽鮮滿支案内所
作成年	19420301
寄贈者	
受入	
注記	45 頁まで残存　26×19cm

大陸情報

第8號　3月1日



滿鉄小樽鮮滿支案内所

業務案内

一、滿鮮支案内所は南滿洲鐵道株式會社及華北交通株式會社が「日本朝野の大陸への認識を求め之が旅客又は貨物の輸送の便宜を計るため」に設けてゐる國策的奉仕機關であります。

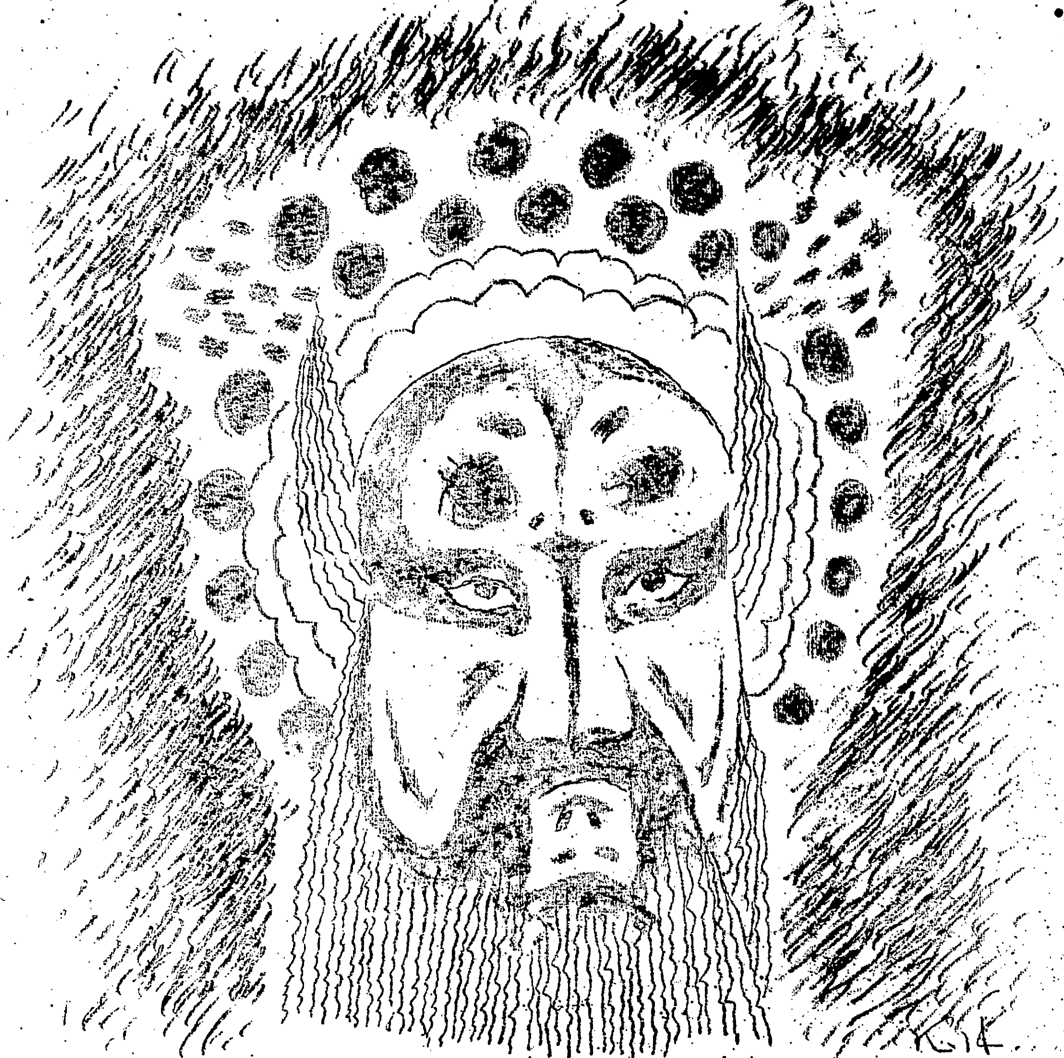
一、鮮滿支地方の産業經濟、交通其他事情紹介、旅行の斡旋、旅行案内記贈呈、鮮滿支荷物運送及通關に關する説明を無手數料で致します。

一、鮮滿支事情の出張講演、映畵、展覽會資料及映畵の貸出、刊行物に依る紹介宣傳を無手數料で致します。

一、鮮滿支案内所は小樽、東京、大阪、名古屋、新潟、敦賀、門司、下ノ關、長崎の九都市に在り小樽は北海道、樺太を受持區域として前揭の業務を取扱ひ致します。

滿鐵鮮滿支案内所

小樽	稻穗町東六丁目	電（四七五〇・四七五一）
東京	京橋區銀座二ノ一	電京橋（二八二一・二八二二・三二七七）
大阪	東區堺筋安土町	電本町（一七〇〇・一七〇一・一七八四）
名古屋	中區榮町一ノ一〇	電本局（四七一一・四七一二・四七一三）
新潟	古町通六	電（二七八八・二九三九）
敦賀	驛前大通	電 四一八
門司	門司稅關前	電（二一一三・二四七七・三一四〇）
下關	下關驛前	電 一九六二
長崎	萬屋町七九	電 四七八八



（花臉の一型）

支那芝居覇王別姫ノ項羽ノ隈取

支那芝居

滿支人は一般に非常に芝居を好み、或意味から云ば芝居は彼等の生活の一部分とも云つて好い程に深い關係を持つてゐる。

階級の上下を問はず芝居を觀ることが好きであるばかりでなく、自分で芝居の歌の好いところを唱ふものが少くない。

元来支那には日本のやうに一般民衆の唱ふ歌が殆ど無いので、民衆は芝居の一節を唱ふことに依つて日常の歌に代へてゐる。

商店の小僧や労働者などが道を歩きながら気持よささうに唱つてゐるのは大低その芝居の一節である。

卷頭言

慶祝滿洲建國十周年

滿洲建國十周年の記念日を茲に迎ふ。

ヴヱルサイユ條約を土台とする米英の國際的重壓下に、雄々しくも我滿洲に於ける特殊權益を護りつゝけて居た滿鐵柳條溝の一角に於て發生した日支軍の衝突は、舊体制に對する挑戰であり世界新秩序建設の序曲であり現狀維持派國家への一大警鐘であつた。

當時日本內地に於ては必ずしもヴヱルサイユ体制の持つ恐るべき東亞包圍侵略の意圖に氣附かず、徒らなる米英崇拜は、歐米の意向を强く其の政策に反映せしめるの觀さへあり、結果に於て大衆の東亞問題に對する關心を薄らぎ、「滿洲は日本の生命線なり」との在外人の絕叫と共に、此の銃聲の持つ意義を正しく直に認識し得たとは決して言ひ得ない狀態であつた。

然るに舊体制の支配から大東亞を解放せんとする民族的要求は關東軍、滿鐵及在滿邦人苦鬪と共に凝つて滿洲建國となつたのである。舊体制の化身である國際聯盟は十三對一の絕對多數を恃んで我民族的要求を斥けたが日本は敢然我々の血と肉とを以つて滿洲國の育成强化に邁進したので

ある。
爾來茲に建國今や十周年を迎へるに當り滿洲國成長のあとを顧みればよくぞ幾多の難關を突破して滿洲民族の希望たる王道國家の名に相應しく政治、經濟、文化、治安の萬般に輝しき成果を收め、日滿一体としての大東亞建設の大據點化たらしめ新支那の治安確定と共に米英破邪戰たる今次の大東亞建設戰の基底たる重要役割を完責しつゝある現狀に到達せしめたものと懷ふ。

身命を顧みざる者なくして此の十年間の短時日に之丈の國家を造りあげる事が出來得やうか、而も其の間滿洲國內治安肅清に、支那事變に、邊境の護りに、張鼓峰事件に、ノモンハン事件に、絕へざる戰を續けながら、第一次二次產業計畫、北邊邊陲計畫、將又開拓計畫と交通、產業、鑛業及農畜產部門に飛躍的數字を齎らしたる十年間の躍進の跡を回顧する事は滿洲國と共に此の一翼たる滿鐵の誇りであり日本民族の大きな喜びである。

我々は敢て世界に誇る。

我々は世界政治の舊体制を打破して新しき秩序建設の途を啓開した先驅者であつた事を。

更に云ふ

今次大東亞戰に依る新なる南方圈は礦物、其の他の資源豐富であるが氣候其の他の關係よりして此の地に於ては加工精製部門の產業は俄かに起り難い。

北方圈の特長は之が背後に於ける適度の氣候と肥沃な農耕地とが天然的に賦與されたるにあるが此の勞働力と消費に富む北方圈こそ南方からの原料資源の仕上部門と消費市場への分配の役目とが課せられるのである。

大東亞戰爭の勃發に依つて一億同胞の眼が一齊に南方に集中された時朝野の識者が擧つて北人南物を高唱し又政策を發表しつゝある事は當然にして北邊の人を以つての護りこそ大東亞圈確立の最大のものであり茲に於て北方たる滿洲、北海道の重責益加はる。

今や南方に赫々たる戰果を讃へて躍進著しき世界に誇る滿洲國建國十周年を迎ふ。

爾後北方、南方兩圈の連絡握手を以つて萬物其の處を得せしめ更に日本民族をして第二の誇りの擧を擧げしめよ。

昭和十七年二月二十日

小樽鮮滿支案內所長

白川義隆

目次

◎ 一、滿支ノ年中行事（續キ）

三月ノ滿支ノ行事

1 清明節 ……… 一

2 植樹節 ……… 一

◎ 旅客關係

一、大連航路定期船發着當日大連驛埠頭相互間旅客及手荷物取扱方 ……… 二

二、釜山發連絡急行寢臺改正料金表 ……… 四

三、日滿支連絡寢臺券ヲ發賣 ……… 六

四、山海關ノ鐵道業務一切 二月一日ヨリ華北交通デ經營 ……… 六

五、孫吳鐵道ホテル營業開始 ……… 八

六、阿爾山溫泉ホテル定食料金改正 ……… 八

七、五龍背聚樂館營業開始 ……… 八

八　京圖線簡易驛設置……八
九　東當線假營業開始……九
一〇　旅客列車編成運用移替……九
一一　連京線大石橋、海城驛立賣「山芋」品切……九
一二　連京線熊岳城驛ニテ「落花生」立賣開始……九
一三　種痘證明書携行方注意……九
一四　蘇家屯、奉天間ニバス開通……一〇
一五　滿洲帝國建國十周年
　一　旅行事務所設置竝業務取扱方ニ關スル件……一〇
一六　朝鮮內列車食堂ニ於ケル遊興飲食税課税……一一
一七　蒙疆地域外旅行者ノ携帶金……一一
一八　濟南食堂營業所ノ列車內販賣營業列車及區間……一二
一九　天津ノ「タクシー」、「トラック」料金値上ケ……一五
二〇　東亞海運塘沽事務所乘船客乘船切符裏書實施……一六
二一　青島站着發旅客種痘豫防注射完了證明書携行……一六
二二　華中鐵道海南線運轉休止列車……一六
二三　海南島ヘノ呼寄證明書發行ノ件……一七

二四 中華航空定期各線ダイヤ一部改正 …… 一七
二五 阜新市設案内所開業 …… 一七

◎弘報關係

一、南方ノ友ヲ交ヘテ共榮ノ大繪卷「興亜國民大會」國都新京ニテ開催 …… 一九
二、ハワイ海戰ニ「撫順石油」ノ貢獻 …… 二〇
三、滿洲國更ニ產業開發ニ邁進 …… 二一
四、大陸隣接地連繫問題 …… 二三
五、滿鐵「移動病院」完成 …… 二四
六、建國十年史映畫化（滿映國運ノ隆昌ヲ記錄） …… 二五
七、滿鐵文化映畫ヲ聖上ニ獻上 …… 二六
八、華北交通新入社員ヲ内原訓練所テ練成 …… 二七
九、華北交通客車内定員保持旬間施行 …… 二八

◎貨物關係

一、滿鐵「荷物通關取扱規則改正」 …… 二九

二、承德稅關復活……………………二九
三、滿鐵「客荷輸送訓練旬間」……………………三〇
四、華北交通一月中貨物輸送概況……………………三一
五、北支輸入組合統制要綱……………………三三
六、北京物資對策委員會所管區域移出入物資ノ運送制限ニ就テ……………………三五

◎隨筆

一、旅ノ手帖（濱本浩）……………………四一

滿洲建國十周年慶祝當選歌

哈爾濱市　松本　嚴　氏作

(一)

爽やかに朝風薫り
大地今歡びに明ける
聖恩の光讃へて
御民吾等この日迎へん
あゝ建國十周年

(二)

新しき歷史に映えて
文化今絢爛と誇る
盟邦と結ぶ手固く
御民吾等この日祝はん
あゝ建國十周年

㈢

天地の恵あまねく
五穀今豊かに實る
元神の偉業偲びて
御民吾等この日誓はん
あゝ建國十周年

㈣

英靈の功輝き
國土今備へは堅し
高らかに盡忠の誠
御民吾等この日叫ばん
あゝ建國十周年

躍進滿洲國ノ國勢

	建國當時	最近
匪賊	三十萬人	一千三百人
豫算	一億一千萬圓	二十五億圓（一般六億五千萬圓 特別十八億五千萬圓）
租稅收入	九千九百萬圓	三億七千七百萬圓
關稅收入	五千二百三十五萬圓	一億七千二百萬圓
日本對滿投資累計	十七億五千萬圓	六十億圓
〃 年額	五千七百萬圓	十三億圓
地籍整理完了面積	―	七萬七千平方粁
鐵道延長	四千粁	一萬五百粁
自動車道路	三千粁	六萬粁
鐵道貨物輸送量	一千六百萬噸	五千八百萬噸
鐵道乘客數	八百萬人	八千三百六十萬人
郵政局（辦事處ヲ含ム）	千六百ケ所	二千百ケ所

郵政辨事員	三千二百人	一萬二千人
電報局	三百六十ヶ所（日本側ノモノヲ含ム）	七百九十ヶ所
電話局	百七ヶ所	四百四十一ヶ所
電話加入者	三萬五千口	十萬口
放送局	三ヶ所	十七ヶ所
放送聽取者	二千人	四十萬人
電燈數	百二十萬燈	三百三十萬燈
水道使用者	八萬戸	二十萬戸
初等學校	九千校	二萬一千五百校
〃　生徒數	五十萬人	百八十萬人
大學	一校	十六校
〃　學生數	三百人	三千五百人
阿片患者	百三十萬人以上	五十萬人
康生院	ー	百五十ヶ所
銀行貯金	二億七千一百萬圓	十七億一千萬圓
郵政貯畜金額	二千三百萬圓	一億七千萬圓
郵政貯畜口數	一萬六百口	百八十萬口
〃　一口當金額	十九圓	九十六圓

◎滿支ノ年中行事（續キ）

一、三月ノ滿支年中行事

二「清明節」 春分カラ十五、六日目アタリ日ハ年ニヨッテ一定シナイ「三月節」トモイッテ春ノ墓參日トサレテヰルトコノ家デモ墓所ノ草ヲムシリ掃キ清メ新シイ土ヲカケ黄紙ヲ焚キ酒ヲ供ヘ香ヲ立テテ先祖ノ靈ヲマツル又「替身」トイッテ病人カ自分ノ身代リニ紙人形ヲ燒ク習ハシモアル尚コノ日ハ前日カラ火テ濕タメタモノヲ食ヘス冷タイモノハカリ攝ル風カ未タニ殘ッテヰルサウテコレハ周ノ代ニ介子推トイフ忠臣カ讒ニアッテ都ヲ追ハレ母ヲ背追ツテ綿山ニ逃レタカ無殘ニモ山ヲ燒カレテ母ヲ抱イタママ燒ケ死ンタ日カ丁度其ノ日ニ當ルトイフノテソノ志ヲ憐ンテ火ヲ使ハナイトイフコトテアル

「植樹節」 コレモ日ハ一定シテヰナイカ三月ニナルト風モ和ラキ光線モ明ルクナッテ來ルノテ農家等テハコノ頃ニ植木ノ移植ヲシタリ冬ノ間屋內ニオイタ花卉ヲ外ヘ出シタリスル

學校トカ公共團体等テハコノ植樹節ノ日ニ記念植樹ヲヨクヤッテキル

滿鐵ダイヤ改正（二月二十日ヨリ）

大東亞戰下輻輳スル大陸輸送陣ノ完璧ヲ期シ滿鐵テハ關釜連絡ノ船車接續旅客ノ利便ヲ圖ルト共ニ華北交通ダイヤ改正ニ伴フ鮮滿支間連絡列車時刻ノ變更ニ協力シテ來ル二月二十日ヨリコレカ連絡直通主要列車運行ダイヤヲ改正實施スルコトニナツタ即チ上リ內地行列車ハ從來ノ約一時間乃至二時間ヲ繰上ケ、下リ滿支行列車ヲ同樣繰下ケ運絡時刻ニ萬全ヲ期シタ今同ノ改正ニ依レハ上リ「のぞみ」ニ對シテハ時刻ニ變更ナキモ內地行連絡旅客輻輳ヲ緩和スルタメ新京ー奉天間ノローカル旅客ノ乘車ヲ禁止、上リ「ひかり」ニ對シテハ從來新京發七時四十分ヲ改正新京發午後十一時三十分トシ連絡便ヘノ便宜ヲ圖リ新京ー奉天間ヲ普通運行トシ奉天發午前八時二十分ヨリ以後ヲ急行トスル

尚寢臺車モコレニ伴ヒ一部ノ變更ヲ行ツタカ上リ「ひかり」ハ新京、釜山間ニ於テ二夜便用シナクテハナラナイノテ利用者ハ新京ニ於テ二夜使用分ノ寢臺券ヲ求メラレルノカ便利トサレテヰル.

寢臺車變更列車ハ大連發午後零時十分新京行二十一列車（奉天發午後十一時）及新京發午後二時二十八分大連行二十四列車（奉天發午

後九時五十五分）ノ兩列車ヘハソレ〲二等寢臺車ヲ一輛增結シ又奉天發午後十一時五十五分新京行三十三列車及哈爾濱發午後四時十分奉天行四十列車ノ寢臺車ハ各等級ヲ通シ全廢シタ一方奉天發午後三時二十分四十六列車ハ從來ノ釜山行ヲ安東止リト變更シタカ今回ノ改正ニ依ル連絡主要急行列車ノ新時刻ハ左ノ如クテアル

○上リ內地方面行

△「ひかり」二列車新京發午後十一時三十分、奉天發午前八時二十分、釜山着午前八時十分、△「興亞」四列車北京發午後三時四十分、奉天發午前九時四十分、釜山着午前八時四十五分、△六列車奉天發午後六時十分、釜山着午後八時、△「のぞみ」八列車新京發午後三時十分、奉天發午後七時五十二分、釜山着午後八時三十分、△「大陸」十列車北京發午前六時四十五分、奉天發午後十時二分、釜山着午後九時十分、

○下リ滿支方面行

△「大陸」七列車釜山發午前七時二十分、奉天着午後六時二十五分、北京着午後十時四十五分、△「のぞみ」九列車釜山發午前八時、奉天着午前九時十分、新京着午後一時五十分、△五列車釜山

[illegible]

發午前九時、奉天着午前十時五十三分、△「ひかり」一列車釜山發午後七時五十分、奉天着午後六時二十五分、新京着午後十一時六分、△「興亞」三列車釜山發午後八時二十分、奉天着午後八時二十八分、北京着午後一時五十五分

◎旅客關係

(一)大連航路定期船發着當日大連驛埠頭相互間旅客及手荷物取扱方

一 大阪商船株式會社大連航路定期船

大連發着當日船車船帶旅客及手荷物輸送ノ爲大連驛、埠頭相互間ニ船車接續自動車ヲ運轉ス

二 自動車ニ依リ定期船ト連絡スヘキ列車ハ入港ノ場合第十一、十三、六〇三列車、出港ノ場合第二二、二〇、一六、六〇二列車トス

三 自動車ノ運轉時刻及發着場所

イ、運轉時刻

入港船接續旅客用		埠頭發	九時〇分
		大連驛着	九時一〇分
入港船接續荷物用自動車		埠頭發	九時二〇分
		大連驛着	九時三〇分
出港船接續旅客用自動車	第一次	大連驛發	九時二〇分
		埠頭着	九時三〇分

第二次　大連驛發　一〇時〇五分
　　　　埠頭着　一〇時一五分

出港船接續荷物用自動車

　　　　大連驛發　九時五五分
　　　　埠頭着　一〇時〇五分

ロ、發着場所

入港船接續自動車　埠頭　船側岸壁發
（旅客用、荷物用共）　大連驛　乘車着

出港船接續旅客用自動車　大連驛　降車發
　　　　埠頭　船客待合所玄關

出港船接續荷物用自動車　大連驛　降車發

四　自動車ニハ連帶乘車券ヲ所持スル旅客及之カ手荷物並手廻品ニ限リ之ヲ取扱フモノトス但シ左ノ各號ノ場合ハ本文ノ場合ニ準シ取扱フコトヲ得ル

イ、連帶乘車船券ヲ所持セサル內地行旅客ニシテ埠頭船客待合所內商船會社出張所ニ於テ乘車券ヲ購求スル爲乘船申込書ヲ提出スル場合ハ該旅客及其ノ手荷物並手廻品

ロ、連帶乘車船券ヲ所持セサル奧地行旅客ニシテ大連驛ニ於テ乘

車券ヲ購求スル爲商船會社ニ於テ發行スル自動車乘車券ヲ所持スル場合ハ該旅客及其ノ手荷物並手廻品

五　自動車運賃

旅　客　無賃

連帶手荷物（前號イ及ロノ手荷物ヲ含ム）　無料

手廻品一箇ニ付十五錢

六　入港船接續自動車ニ依リ輸送セラルル託送、託送換、携帶手荷物ハ商船會社係員ニ於テ他ノ荷物ト區別シテ之カ取卸ヲ爲シ託送手荷物ハ之ヲ埠頭係員ニ引繼キ其ノ他ノ手荷物ハ大連驛ニ於テ直接旅客ニ引渡ヲ爲スモノトシ其ノ通關檢査ハ大連驛ニ於テ施行セラルルモノトス

(二) 釜山發連絡急行寢臺改正料金表

二月一日ヨリ改正實施サレタル連絡急行寢臺料金左ノ通

著 驛 (列車番號)	1 急	1 税	1 寢	1 税	2 急	2 税	2 寢	2 税	3 急	3 税	3 寢	3 税
新 京 (1 . 7)	7,50	2,50	8,00 10,00	2,40 3,00	5,00	1,00	5,00 7,00	1,00 1,40	2,50	,25	1,50 2,00 2,50	,15 ,20 ,25
北 京 (3 . 9)	◎ 一夜分ノ場合ハ同上也 ◎											
奉 天 (5)					4,00	,80	5,00 7,00	1,00 1,40	2,00	,20	1,50 2,00 2,50	,15 ,20 ,25
京 城 (17, あかつき)	6,00	1,80			4,00	,80			2,00	,20		

(三) 日滿支連絡寢臺券ヲ發賣

滿鐵ニ於テハ豫テ發賣停止中ノ日滿支連絡急行寢臺券竝關釜連絡船ノ寢臺券ヲ二月一日カラ解除シ發賣スルコトトナツタカ一般連絡旅客ハ左記事項ヲ注意サレタイ

一、當分ノ間大列車（奉天發午後八時三〇分、釜山棧橋着午後九時三二分）ヲ除キ滿鮮間直通急行列車ハ關釜連絡船トノ接續ヲ缺ク為晝便系統ノ第二列車（ひかり）第四列車（興亞）ハ夜便ニ、夜便系統ノ第八列車（のぞみ）第十列車（大陸）ハ晝便ニ夫々一便遲リ接續スル

二、日滿支連絡急行寢臺券竝關釜連絡船ニ對スル寢臺券ノ發賣驛及東亞旅行社案內所ニ於テ無駄ノナイ旅行日程ヲ問合セルコト

(四) 山海關ノ鐵道業務一切二月一日ヨリ華北交通テ經營

山海關ニ於ケル鐵道業務ハ從來華北交通及滿鐵兩社ニヨリ二元的ニ運營サレテ來タカコレカ一元的運營ニヨル事務取扱ノ簡捷化ハ豫テヨリノ懸案トナツテヰタトコロ昨年十一月中旬ヨリ華北交通、滿鐵間ニ進行中テアツタ具体的交渉ハコノ程圓滿諒解ニ達シ關係當局ノ承認ヲ經テ愈々來ル二月一日ヨリ實現ヲ見ル運ヒニ至ツタコレニヨ

リ山海關ニ於ケル滿鐵業務ノ一切ハ擧ゲテ華北交通ニ委託シコヽニ華北交通ノ一元的經營ガ實現スルワケテ一月三十一日正午山海關東方賓館ニ於テ華北交通代表山口理事、滿鐵代表岡田理事ノ間ニ右業務委託ニ關スル暫定協定ノ正式調印ガ行ハレルコトニナツテヰル
尚コレト同時ニ古北口驛ノ鐵道業務ハ從來ノ假委託ヲ正式ニ華北交通ヨリ滿鐵ニ委託スルコトニナツタ右協定ニヨル委託業務ノ內容ハ大要左ノ通リ

△旅客及荷物ノ取扱並之ニ附隨スル業務、△列車ノ取扱、組成並車輛ノ入換、△機關車ノ監視、給炭、給水及應急修理並發著準備△客貨車ノ授受、運用、保管及檢査並應急修理、△客貨車ノ清掃及消毒並客車給水、△客車、車掌車備品及防空施設ノ運用並保管△貨車附屬品ノ運用及保管、△乘務員ノ監理、△電氣通信業務ノ取扱、△事故復舊及處置

尚山海關ノ業務受託ニヨル所要人員ハ滿鐵ヨリ引繼キ協定調印ト同時ニ華北交通社員トシテ從前通ノ業務ニ從事スルコトヽナツテヰル又コノ業務一元化ニヨリ從來復雜テアツタ旅客手小荷物及貨物ノ手續モ非常ニ簡捷化サレル譯テ一般ノ受ケル利便モ大テアル

(五) 孫呉鐵道ホテル營業開始

豫テ建築中ノ孫呉鐵道ホテルハ工事完了シ二月一日ヨリ營業開始シタ

客室	和洋兩式
室料	一人八圓以上
食事	和洋定食竝一品
定食	朝 一圓五〇錢
	晝 三圓〇〇錢
	夕 四圓〇〇錢

(六) 阿爾山温泉ホテル定食料金改正

阿爾山温泉ホテル定食料金一月一日ヨリ左ノ通改正

和食 朝食一圓五〇錢、晝食二圓五〇錢、夕食三圓

(七) 五龍背聚樂館營業開始

五龍背温泉聚樂館ハ冬期營業準備ノ爲休業中ノ處過日竣工シ十二月二十五日ヨリ營業ヲ開始シタ

(八) 京圖線簡易驛設置

京圖線龍潭山ノ次ニ江北（コウホウ）簡易驛ヲ設置一月十一日ヨリ

旅客及手小荷物ノ取扱ヲ開始ス

(九) 東當線假營業開始

東當線西東安－密山間一月十五日ヨリ假營業ヲ開始

區間　西東安－南竹－密山

(十) 旅客列車編成運用移替

連京線第一〇八、一〇七列車（奉天－新京間）、第一〇二、一〇一列車（奉天－大石橋間）、第五〇、四九列車（奉天－橋頭間）各列車ハ一月十日以降二等客ノ取扱ヲ爲ササルコトトナツタ

(十一) 連京線大石橋、海城驛立賣「山芋」品切

大石橋、海城驛ニテ立賣中ノ「山芋」ハ品切ノタメ當分ノ間立賣休止

(十二) 連京線熊岳城驛ニテ「落花生」立賣開始

落花生（外皮附）三百瓦入　一袋三〇錢

(十三) 種痘證明書携行方注意

羅津附近ニ天然痘發生ニ伴ヒ之カ防疫ノ爲羅津驛ヨリ乘車スル旅客ニ對シテハ一月十七日以降種痘證明書ヲ所持スルモノニ限リ乘車ヲ許可スルコトトナリタリ

(十四) 蘇家屯、奉天間ニバス開通

多年蘇家屯地方民カ待望ノ蘇家屯、奉天間バス運行ハ渾河架橋ノ竣成ト共ニ具體化シ去ル二十日ヨリ鐵道總局テ運轉開始ヲ見タカ交通飢饉ニ惱ム一般地方民ニ多大ノ利便ヲ與フルコトトナツタ

王鋼堡發	蘇家屯發	奉天着
九〇〇	一〇三〇	一二〇〇
—	一一三〇	一三〇〇
—	一三三〇	一五〇〇
一四三〇	一六〇〇	一七三〇
—	一五〇〇	一六三〇
—	一七〇〇	一八三〇

料金ハ蘇家屯、南大門間八十錢、蘇家屯、奉天間一圓テアル

(十五) 滿洲帝國建國十周年旅行事務所設置並業務取扱方ニ關スル件

滿洲帝國建國十周年ヲ迎フルニ當リ東亞旅行社滿洲支部ニ於テハ祝典及諸行事參加又ハ參加者ノ旅行ニ關スル一切ノ斡旋事務ヲ滿洲帝國祝典事務局ヨリ委囑サレ揭題左ノ通設置シ事務ヲ開始スル

一 名稱　滿洲帝國建國十周年旅行事務所

二　業務開始期日　昭和十七年二月一日

三　位置　新京日出町一番地（驛前）

(六) 朝鮮內列車食堂ニ於ケル遊興飲食稅課稅

朝鮮內食堂ニ於ケル課稅ハ左ノ通實施サレル

一　課稅率

イ、一人一回ノ飲食料金三圓未滿ニ對シテ飲食料金ノ百分ノ二十

但シ前項料金カ一圓五十錢未滿ノ場合徵稅セス

ロ、一人一回飲食料金三圓以上ニ對シテハ飲食料金ノ百分ノ三十

二　朝鮮、滿洲國トヲ直通運轉スル場合飲食料金支拂地カ滿洲國內ナルトキハ徵收セス

三　二名以上共同ニテ飲食シタル場合ニ一人一回ノ飲食料金ノ算出ハ飲食料金ヲ員數ニテ除シタル金額ニ依ル

(七) 蒙疆地域外旅行者ノ携帶金

蒙疆地域外旅行者携帶金交換額制限ノ實施ニ伴ヒ域外旅行者ノ旅費送金取扱ヲ簡易ニスル爲銀行及郵電局ニテハ用務、滯在日數ニ依リ日本人ハ滯在旅費一人一日十圓內外ノ割合ニテ算定シ其ノ額ヨリ一應制限額二十圓ヲ差引イタ額ノ送金爲替取組ヲ許可シ「旅費送金爲

替取組済證明書」ヲ發給スルコトトナツタ右證明書ト乘車券ヲ携帶金申告書ニ添附經濟監視署員ニ提出シ承認ヲ經タル上殘額制限額以外ノ交換ヲナスコトトナツタ

(十八) 濟南食堂營業所ノ列車内販賣營業列車及區間

營業列車	區間
第八〇一、八〇二列車	青島—北京
第八〇三、八〇四、八〇五、八〇六列車	青島—濟南
第八〇七、八〇八列車	坊子—濟南
第八〇九、八一〇列車	張店—濟南
第八三一、八三二列車	青島—濰縣
第八三三、八三四列車	青島—高密
第五三一、五三二、五三四、五三五、五三六列車	張店—博山
第一〇一、一〇二列車	北京—蚌埠
第一〇五、一〇六列車	天津—兗州
第一四三、一四四列車	濟南—徐州

（十九）タクシー、トラツク料金値上ゲ　天津十六日カラ實施

天津ニ於ケルタクシー並ニトラツク運輸業ハ近年著シイ諸物價昂騰ニ加ヘ昨秋以來實施ノガソリン消費規正等ニヨリ經營困難ニ陷ルモノ尠クナイ狀態ニアルニ鑑ミ天津自動車協會テハ當局ニ自動車料金ノ値上方ヲ申請中ノトコロ十六日タクシー料金及自動車運送貨物料金ハ改正カ許可サレ即日實施サレタ改正料金ハタクシー料金カ約八割、トラツク運送料金ハ約六割ノ値上ゲトナツテヰル

次ニ改正料金ト舊料金トノ比較ヲ示スト左ノ如シ

△タクシー料金（中原公司ヲ基點トスル）

	改正料金	舊料金
東站	三、五〇〇圓	二、〇〇〇圓
北站	五、五〇〇	三、〇〇〇
西站	七、五〇〇	四、〇〇〇
日界	三、〇〇〇	一、五〇〇
佛租界	三、〇〇〇	二、〇〇〇
舊英租界（運河以北）	四、〇〇〇	二、〇〇〇

舊英租界（運河以南）	五、〇〇〇	二、五〇〇
伊太利租界	三、〇〇〇	二、〇〇〇
北寧公園	七、〇〇〇	四、〇〇〇
華街	三、五〇〇	二、〇〇〇
特一區（小劉莊一帶）	五、五〇〇	三、〇〇〇
特二區	三、五〇〇	二、〇〇〇
特三區（大王莊入口）	五、〇〇〇	三、〇〇〇
特四區（驗問通過）	九、〇〇〇	五、〇〇〇
萬國競馬場	一五、〇〇〇	八、〇〇〇
英商競馬場	五、〇〇〇	三、〇〇〇
飛行場	三五、〇〇〇	一九、〇〇〇
東洋製絲	二〇、〇〇〇	九、〇〇〇
時間貸（一時間）	八、〇〇〇	六、〇〇〇

連續運轉（一時間）	一五、〇〇	八、〇〇
市外料金（一粁）	二、〇〇	一、〇〇
貸切（十時間以内）	八〇、〇〇	四五、〇〇

△トラック貸切扱時間貸（一時間）

一、五噸積以下	六、〇〇	九、六〇
三噸積以下	一三、〇〇	八、〇〇
五噸積以下	一七、〇〇	一一、〇〇
五噸積以上	六〇、〇〇	三八、〇〇

半日貸

一、五噸積以下	四五、〇〇	二八、〇〇
三噸積以下	六〇、〇〇	三八、〇〇
五噸積以下	七五、〇〇	四八、〇〇

請負扱

一噸ニ付二粁迄	四、八〇	三、〇〇

小口扱

一〇〇瓩ニ付二粁迄　〇、八〇増　〇、五〇増

(二十) 東亜海運塘沽事務所乗船客乗船切符裏書實施

東亜海運塘沽事務所ニ於テハ二月初旬出帆船ヨリ左ニ依リ乗船切符裏書及連絡乗車船切符ノ目録ノ作成ヲナスコトトナッタ

一　乗船客ハ本船（又ハテンダー）出帆迄ニ必ス塘沽事務所（出帆三時間前ヨリハ東亜海運碼頭待合室内詰所）ヘ出向キ切符ニ裏書ヲ求ムルコト

二　裏書ナキ乗船切符所持ノ船客ハ乗船拒絶サレルニ付出帆間際ト雖モ碼頭詰所迄引返シ裏書ヲ求メルコト

右ニ伴ヒ船客連絡手荷物及一般携行手荷物ニ關シテモ一層慎重ノ取扱ヲ為スコトトナッタ

(二十一) 青島站着發旅客種痘豫防注射完了證明書携行

一月十三日ヨリ青島站着發旅客ハ種痘豫防注射完了證明書ノ携行ヲ要スルコトトナッタ

(二十二) 華中鐵道海南線運轉休止列車

華中鐵道海南線第一列車（天馬號）第四列車（飛龍號）第六、七列車ハ一月十日ヨリ不定期ニ變更シ當分ノ間運轉休止スルコトトナッタ

(二十三) 海南島ヘノ呼寄證明書發行ノ件

從來海南島ヘノ新規入島者ニ對シテハ本島ニ於テ確實ナル身元保證人（主トシテ海南島三省連絡會議ノ指令ニ基ク業務ニ從事スル各會社ノ保證）ノ有ル場合ハ當地領事館ニ於テ呼寄證明書ヲ下附入島ヲ許可セラレタルモ昨年十一月以降右ノ外ニ憲兵隊特務部ノ許可ヲモ要スルコトトナリ更ニ適用範圍ヲ確實ナル就職先ヲ有スル者又ハ本島ニテ職業ニ從事スル當人ノミト制限サレ一般家族ニ對シテハ當分ノ間呼寄證明書ノ發給ヲ停止セラルルコトトナリタリ

「註」三省連絡會議トハ陸軍、海軍、外部三省ノ海南島ニ於ケル最高連絡會議ナリ

(二十四) 中華航空定期各線ダイヤ一部改正

中華航空ダイヤハ昭和十七年一月十二日ヨリ左ノ通一部改正サレタ

△上海—南京—漢口線（第十五、十六便）

從來月、水、金、土曜日運航ノ處月、金曜日運航ニ變更

△北京－天津－青島－上海線（第三十一、三十二便）
從來月、火、金、土曜日運航ノ處第三十一便ハ毎週水曜日、第三十二便ハ木曜日運航ニ變更

△南京－安慶－九江－漢口線（第十一、十二便）
從來毎週月、火、木、土曜日運航ノ處毎週火、木曜日運航ニ變更

△北京－濟南－徐州－南京線（第一、二便）
毎週月、火、水、木、金、土曜日運航ノ處第一便月、水、金曜日
第二便ハ火、木、土曜日運航ニ變更

（二十五）阜新市設案内所開業

阜新驛前ニ建築中ノ市設案内所ハ外工事ヲ殘シテ内造作カ終ツタノデ旅行案内所、喫茶食堂ヲ備ヘテ二月一日カラ開業シタ

◎弘報關係

(一)南方ノ友ヲ交ヘテ共榮ノ大繪卷

「興亜國民大會」國都新京ニテ開催

東亜解放ノ世界的轉換期ヲ齎シタ聖戰下ニ意義一入深キ建國十年ヲ迎ヘタ滿洲國テハ盛ンナ記念行事ノ數々ヲ展開スルカソノ一ツ「興亜國民大會」並ニ「興亜民族大會」ノ實施要項カ二十三日ノ協和會中央本部委員會テ決定シタ

コノ大會ハ大体新緑ノ六月國都ニ於テ全滿協和會員、奉公隊員、青少年團員、女子青年團員、國婦開拓義勇隊並日本、中華民國、蒙疆、佛印、泰等ノ各國代表參加ノ下ニ開催「宿營訓練」、國土防衛演習」ニ大會ノ幕ヲ開キ大同廣場ニ於テ豪壯雄大ナ動員大會並ニ分列行進ヲ以テ幕ヲ閉チル一方「國防展覽會」ヲ開催シテ國民ノ時局認識ヲ徹底サセ引續イテ日本ヲ盟主トスル大亜細亜復興ノ機運ヲ醸成スル民族大會カ擧行セラレルカ現在招請豫定ノ國外參加者ハ日本（內地朝鮮、關東州、臺灣）ヲ始メ中國、蒙疆、泰、佛印、大マニラ、マレー、印度、ビルマソノ他テ女子モ招請スル豫定テ大會後ハ吉林、哈爾濱、奉天等ヲ視察セシメ滿洲國ノ眞姿ヲ紹介、建國精神ノ理解

認識ヲ深メルヘク計畫サレテヰル

(二) ハワイ海戰ニ「撫順石油」ノ貢獻

滿鐵撫順炭礦製油工場ハ時局下益々採油增產ニ拍車ヲ掛ケテヰルカ今次大東亞戰爭ノ緒戰タルハワイ眞珠灣、マレー沖海戰ヲハシメ海軍ノ赫々タル戰果ノ裏ニコノオイル・シエール（人造石油）ノ絕大ナル効果ノアツタトコロカラシテ帝國海軍テハ永野海軍軍令部長並ニ嶋田海軍大臣名ヲ以テ大村滿鐵總裁ニ對シ感謝ノ意ヲ表スルト共ニ今後共一層ノ人造石油增產ニ努力シ皇軍ノ威力ニ協力スルヤウ懇望サレタノテ滿鐵テハ大村總裁以下感激シ增產ニ挺身奉公ヲ誓ツテヰル

撫順炭礦ノ採油能率ハ大戰勃發以來關係從事員ノ時局認識ノ徹底ニヨリ近來ソノ比ヲ見サル優秀ナル實績ヲ擧ケテヰル我海軍力ニ多大ノ貢獻ヲナシタコノ人造石油ノ原料タル油母頁岩ハ燃ユル石トシテ明治四十二年頃カラ知ラレテヲリ爾來各方面ニ於テ採油試驗ヲ行ツタカ大正十四年撫順炭礦ニ於テ研究サレタ熱瓦斯循環內燃式乾餾法カ成功、日本政府ノ特許ヲ得タノテ同十五年之カ企業的實驗ニ着手シ昭和五年一月ヨリ作業ヲ開始シタモノテアル

コノ撫順式乾餾方法ハスコツトランド式ニ比シ爐ノ構造カ大量處理ノタメ工場建設費節約、製油原價ノ低減トイフ大ナル利點カアツタソノ後製油倍加昂上ヲ目指シ研究ノ結果設備改裝ヲ行ツテ撫順ニ於ケル油母頁岩工業發展ノ基礎ヲ確立シタノテアル更ニ原礦處理增加擴大ノ研究試驗ニモ成功シ昭和十一年四月ヨリ工場西部ニ新工場ト附帶工場ヲ建設シソノ後同型爐ノ追加ヲ斷行シテ來タノテアル又コレト同時ニ原礦破碎ノ際ニ生スル粉礦ノ處理法ト乾餾瓦斯中ノ揮發油回收モ行ツテキルカ斯ル情勢ヨリ今後ニ於ケル油母頁岩ノ採掘並ニ製油事業ニハ相當巨費ヲ投シ科學日本ニ凱歌ヲ上ケルタメ滿鐵テハ最高度重點ヲモツテ事業ヲ進メテ行クコトニナツタ

(三) 滿洲國更ニ產業開發ニ邁進

一 大東亞戰爭ト滿洲經濟

南ノ資源地域カ如何ニ占領地域トナツテモ現在進メテキル滿洲產業開發ヲ毫モ變更スルコトハ出來ナイト思フ特ニ農產物、畜產物ノ增產ハ日本ノ戰爭目的ヲ完遂スルタメニ滿洲カ兵站基地トシテ養成サレル緊要缺クヘカラサルモノテ何ヲ措イテモ增產ヲ圖ラネ

ハナラナイ又輕工業部門モ益々旺ンニシナケレハナラナイ優秀ナ製品ハ決シテ一朝一夕ニ出來ルモノテハナイ南方ハ資源地テハアルカ決シテ加工地テハナイ

二 財政問題

高度國防財政堅持ノタメニハ今年度モ國民購買力ノ吸收ニ依リ財政々策ヲ執スコトハ依然昨年ト變リハナイ唯コレヲ税ノ部面ニ依存スルカ起債其ノ他ノ方法ニ依ツテ吸收スルカ或ハ調整料ニ依ルカハ目下研究中テアルカ例令税ニ依存スルトシテモ國民負擔能力ヲ充分研究シテカカラネハナラナイシ又現下喫緊事タル増産ヲ阻害セサル樣準備ヲ必要トスル

三 物價問題

本年度モ物價問題ハ國内經濟上最モ大キナ問題トイヘヤウ低物價政策ヲ強行シ乍ラ増税ハ矛盾タトノ抗議モ隨分アルカ税カ單ナル財政收入ヲ目標トシタモノテハナク一方浮動購買力ノ吸收モ意味アルモノテコノ問題ヲ突ツメルト結局物價安定トイフコトニナラウ

平衡資金ニツイテモ充分檢討ヲ加ヘ物價安定ニハ極力努力スル

四 大陸隣接地連繫問題

緊急經濟對策要綱ニモアル様ニ隣接地區ノ有無相通ニ依リ聖戰下ニ於ケル對日供給物資ノ増産ニ努メル

(四) 華北「對滿供出勞働者」本年ハ八十萬人確保ヲ期待

勞働力供給ノ源泉地ヲナス華北ノ今年度ニ於ケル勞働力ノ配分調整ハ一元的統制機關トシテ昨秋新設サレタ華北勞工協會ニヨリ萬全ノ對策カ樹立サレ新年度ヲ迎ヘテカラ之カ實現ニ着々努力シテキルカ今年度ノ華北ニ於ケル余剰勞働者ハ百六十萬人ト推定、コノ内滿洲ヘノ供給勞働者ハ八十萬人、蒙疆三萬人、中支方面二十萬人ノ供給ヲ計畫シテキル

特ニ滿洲ヘノ勞働者供出ニツイテハ重要視シ八十萬人ノ供出ヲ最低限トシコレカ確保ニハ華北當局ニ於テモ萬全ヲ期スルコトニナツテキル今年ノ勞働者出廻ニツイテハ逐年治安カ回復シテキルコトヤ昨年ノ農作物ハ各地區トモ平年作テアツタコトナトニヨリ復歸カ多クナルモノト見ラレ樂觀ヲ許サレナイモノカアル

次ニ今年度滿洲ヘノ供出華工數八十萬人ノ内譯ヲ見ルト團体供出豫定數三十萬人、自由勞働者供出豫定數五十萬人トナツテオリ團体ノ

内譯左ノ通テアル

土木關係	十四萬人
運輸關係	十五萬人
窯業關係	十萬人
其他（鑛山關係ヲ含ム）	十七萬五千人
計	三十萬人

(五) 滿鐵「移動病院」完成

恐ルヘキペストヲ始メ惡疫傳染病ノ絶滅ヲ目指シテ滿鐵自慢ノ完備シタ防疫列車カ竣工コノ列車ハ世界ニ比ヲ見ナイ完全ナ施設ヲ備ヘ機關車ヲ除イテハ九輛連結、綠色ノ中ニ大キナ白線ヲ引イタスマートナモノテアル

滿鐵テハ一昨年ペスト流行直後昭和十六年度カラペスト防疫對策ヲ樹テ流行地帶ハ消毒裝置ヲ實施シテヰルカ今回完成シタ防疫列車ハコノ三ケ年計畫ノ一部ヲナスモノテ沿線僻遠地ニ「ペスト」發生ノ際ニハ病源ノ徹底消毒、防疫工作等コノ列車ノ迅速ナル活動ニ非常ナ期待カカケラレテヰル

死室の編成は發電車、消毒車、解剖車、試驗手術車、診察車、患者收容車、隔離車、炊事車、係員宿泊車の順で保健課堀博士の考案になつた一流病院にも劣らぬ諸施設を備へ消毒車は蒸氣汽鑵も別個に備付け疊、ベツトも三十分で完全消毒が出來る大きな釜を有し解剖施設、兎、モルモツト等の感染動物試驗も行はれ試驗手術車には細菌の試驗培養施設別科裝置、電氣冷藏庫、レントゲン診斷車には發電機も設けられており收容車、隔離車は各三十名宛の收容力があり炊事車には完備した食器消毒施設もある又醫師看護婦等の宿泊車、病理室、風呂等も備へコンパート式一等車以上の豪華なものである

(六) 建國十年史映畫化（滿映國運ノ隆昌ヲ記錄）

輝ク建國十周年ノ佳年ニ當リ滿映テハ映畫「建國十年史」ノ作製ソノ他記念劇映畫、記念記錄映畫ノ作製等多彩ナ計畫ヲ進メテヰルカ大要ハ次ノ如シ

◎建國十年史（十卷程度）

建國以來ノ重要行事ヲ詳細ニ描キ十周年式典ヲ終點トシテ將來ニ遺スヘキ國家的記錄映畫トスル

◎偉大ナル十年（四巻程度）
主トシテ建國以來ノ政治、産業、文化ノ發展的現勢ヲ說明的ニ描ク（三月末完成）

◎十周年行事記錄（十巻程度）
十周年元旦ニ於ケル張總理ノ挨拶カラ萬壽節、建國節式典、國民動員大會、東亞競技大會、武道大會、十周年式典ソノ他盟邦日本ニ於ケル慶祝行事等意義深イ十周年諸行事ヲ記錄スル（九月末完成）

◎時事映畫
第一報トシテ「建國十周年ヲ迎ヘテ」ヲ三日完成、來ル六日萬壽節ヲ期シテ一般公開サレルカ内容ハ國勢ノ躍進（張總理）、國軍ノ充實（于治安部大臣）、産業ノ開發（鮎川經濟顧問）、我等ノ覺悟（武部總務長官）等テアル

◎記念劇映畫
二月中ニ作製要綱決定

(七) 滿鐵文化映畫ヲ聖上ニ獻上
滿鐵映畫製作所テハ同所ノ製作文化映畫「オロチヨン」「オルドス

越えて」ヲ豫テ天皇陛下ニ獻上スヘク宮内省ヘ御伺ヒ中テアツタカ一月二十三日宮内省カラ正式ニ御嘉納アラセラレル旨内示カアツタノテ同製作所員一同光榮ニ感激近ク東京支社ヲ經テ獻納手續ヲ執ルコトトナツタ

(八)

華北交通新入社員ヲ内原訓練所テ練成

昨年四月華北交通初ノ試ミトシテ專門學校大學卒業ノ定期採用者ヲ實務ニ携ルマテノ一定期間訓練所ニ送ツテ身心ヲ陶冶、鍛錬シ豫期以上ノ成果ヲ收メタノテ同社テハ又十七年度定期採用者約二二五名モ前年同様茨城縣内原訓練所ニ入所セシメ鍊成スル一同ハ一月十六日ノ嚴粛ナ入所式ヲ以テ學窓生活ノ殼ヲ脱捨テ大東亞戰爭下兵站基地トシテノ重要性ヲ帶フルニ至ツタ北支蒙疆ノ交通戰士トシテ國家總力戰ニ挺身奉公スヘキ確固タル開拓精神体得ヲ目指シテ二月十四日マテ約一ケ月間鍛錬修養ノ道ニ專念スル

昨年度ノ經驗ニ基キ本年度ハ特ニ同社八木沼參與カ總指揮ニ當リ各系統カラ選抜シタ現社員中ノ少壯指導適任者七名ヲ中隊附或ハ小隊長トシテ派遣全員ヲ五箇小隊ニ分チ幹部ト新社員一同朝夕起居ヲ共ニシ徹底シタ生活指導ヲ加ヘ同時ニ會社事情ヤ初歩ノ華語ニツイテ

講習ヲ實施シ現地赴任ノ上ハ直チニ現場ニ立ツテ國家的聖職ニ邁進シ得ル樣身心兩方面ヨリ鍊成スルコトニナツテヰル

(九) 華北交通客車內定溫保持旬間施行

寒氣ニ依ル客車凍結事故ノ絕滅ト旅客サービスノ目的カラ華北交通北京鐵路局ニ於テハ一月十五日カラ三十日迄十六日間ニ涉リ客車內定溫保持旬間ヲ實施此ノ間十五日カラ二十日迄ハ準備旬間、二十一日カラ十日間ヲ實施旬間トシ車內溫度攝氏十六度乃至二十三度ノ保持ヲ目標ニ列車着發時ノ窓、扉ノ開閉注意、給水入換時ノ蒸氣及凝結水ノ排出勵行等ニ主力ヲ置キ各站、列車段、機務段、檢車段ノ關係箇所カ一致協力大イニ其ノ效果ヲ擧ケタ

◎貨物關係

(一)滿鐵荷物通關取扱規則改正

滿鐵ニテハ荷物通關取扱規則ヲ改正七日ヨリ實施シタカコレハ現行通關代辦手數料カ去ル昭和十二年ノ制定ニ依ルモノテソノ後經濟界ノ一般情勢ノ變轉ニ伴ヒ之カ手數料ノ適正化ヲ期シ通關業務ノ改善發達ニ寄與スル目的ヲ以テ今日日滿支連絡各運輸機關カ同時ニ改正スルコトニナツタコトニ基因スルモノテアル

即チ從來ノ各運輸機關ノ統一手數料ヲ日滿支各國手續別ノ手數料ニ改正サレタノテ從ツテ滿鐵關係テハ安東、圖們、羅津、山海關古北口等ノ各國境地區ニ於テ通關手數料カ異ル譯テアル運輸機關ニ於テ代辦スル通關代辦手數料ハ輸出又ハ輸入手續毎荷物一口ニ付日本輸出入ノモノ小荷物三十錢、貨物八十錢、滿洲輸出入ノモノ小荷物五十錢、貨物一圓二十錢、支那輸出入ノモノ小荷物一圓貨物二圓テ運賃發拂ハ荷送人ヨリ、著拂ハ荷受人ヨリコレヲ收受シ陸揚證明申請手續ノ代辦ヲ爲シタル場合ハ一件ニ付一圓ヲ代辦依賴者ヨリ收受スル事ニナツテヰル

(二)承德稅關復活

政府ハ昨年熱河方面ニ於ケル對北支向爲替關係並ニ同地方ノ產業進捗ニヨル關稅事務輻輳ノタメ三月一日ヨリ承德ニ稅關ヲ新設スルニ承德ハ既ニ康德四年迄稅關カ設置サレテキタカソノ後諸般ノ情勢ニヨリコレヲ閉鎖サレタモノカ今次對外爲替管理ノ强化密輸取締必要ニヨリ復活シタモノテ承德稅關ヲ加ヘ國內稅關ハ九稅關トナッタ

(三) 滿鐵「客荷輸送訓練旬間」

去ル一月下旬ノ"總力輸送完遂旬間"ニ引續キ滿鐵テハ決戰下從事員ノ訓練ヲ少シモ弛メス矢繼早ニ"決戰下客荷輸送特別訓練旬間"ヲ行フコトトナツタ今回ノ訓練ハ營業、水運、自動車三局カ中心トナリ全旅客、荷物關係從事員ニ對スル決戰下ノ輸送訓練ヲ目標トシ現滿鐵ノ人的資源逼迫ニアル傾向ニ對處シテ最少人員ヲ以テ最大輸送能力ヲ發揮サセル恒久對策テ關係機關ノ訓練ヲ長期ニ亘リ部門別ニ行ヒ最後ニ綜合訓練ヲ行フコトニナツテキル

而シテ今次ノ實施要目ハ決戰下客荷輸送ヲ阻害スル現行制度施ノ改善、從事員ノ決戰體制確立訓練、決戰下客荷輸送ノ完遂、社外關係機關ノ決戰體制確立强化、交通道德ノ決戰體制强化誘導等テアリ實

施方針並期日ハ左ノ通リテアル

△本部整備訓練　二月一日ヨリ七月三十一日迄總局、各鐵道局自體ノ訓練トシテ現行制度施設ノ全面的再檢討、規定大整備ニヨル簡易化ヲ行ヒ現場業務ノ圓滑ナル遂行ヲ期シ客貨輸送ノ決戰體制ヲ確立スル

△現場關係訓練　八月一日ヨリ十月三十一日迄從事員養成並社外關係機關ニ對シテ緊密連繫ヲ圖ル

△綜合確立訓練　右ノ訓練ニヨリ確立シタ客荷輸送ノ決戰體制綜合訓練ヲ實施シコレカ効果ヲ確立スル

(四) 華北交通一月中貨物輸送概況

有史以來ノ決戰體制下ニ北支重要資源ノ對日供給ハ益々其ノ緊要性ヲ加ヘツツアル折柄コレカ輸送確保ヲ使命トスル華北交通ノ鐵道貨物輸送ハ逐月增大ノ一途ヲ辿リツツアリ昨年十二月ノ如キハ從來ノ輸送最高記錄ヲ一新スル驚異的實績ヲ收メタカ一月中ニ於ケル輸送實績モ亦コレニ劣ラス新正ニモ拘ラス月間總發瓲數〇〇〇萬ニ達スル好成績ヲ擧ケ特ニ我カ戰時產業ノ原動力タル石炭ノ輸送量ハ實ニ〇〇萬瓲ヲ突破シ石炭ノ｛ノ輸送實績トシテハ又復玆ニ同社創業以

來ノ最高記錄ヲ樹立シタモノテアルコレヲ一般營業民需品貨物ノミニツイテ示セハ左表ノ如ク前年同月ニ比シ合計ニ於テ五十九萬八千噸三一%ノ增送ヲ示シ特ニ前記石炭ヲ主体トスル鑛產品ハ實ニ六十四萬噸四八%ノ大巾增送ヲ示シタ尚農產品・水產品ノ對前年減少ハ前年カ特殊經濟事情ニヨツテ異常ニ增送ヲ示シタルニヨルモノテアル

民需品貨物品目別發送噸數

品別	一月	前年同月	比較增減（%）
鑛產品	一、九八七、〇〇〇	一、三四五、〇〇〇	六四二、〇〇〇（四八）
農產品	一五五、〇〇〇	二二六、〇〇〇	△七一、〇〇〇（三一）
林產品	九五、〇〇〇	五五、〇〇〇	四〇、〇〇〇（七一）
畜產品	二七、〇〇〇	二七、三〇〇	△三〇〇（一）
水產品	三二、〇〇〇	七一、〇〇〇	△三九、〇〇〇（五五）
其他	二四九、〇〇〇	二二三、〇〇〇	二六、〇〇〇（一二）
合計	二、五四五、〇〇〇	一、九四七、三〇〇	五九七、七〇〇（三一）

(五) 北支輸入組合統制要綱

北支ニ於ケル物資ノ統制ハ既述ノ通日本貿易組合法（昭和十二年八月十四日法律第七十四號）ニ基ク日本輸出入組合ト相關々係ニアル北支輸入配給組合ノ組合統制規程ニ基キ爲スノテアルカ今之カ實施要領ヲ記スルニ次ノ如キモノテアル

1、日本輸出組合ト連繫スルト共ニ爲替制限制ト連絡シ輸入組合員ノミカ輸入スルコト

イ、輸出組合アルモノニ就テハ北支組合發行ノ輸入承認書ナキモノハ輸出出來サル旨ヲ日本輸出組合統制規程中ニ制定ノコト

ロ、日本輸出組合ニ依ル統制ニ就テハ右ノ旨ヲ右制限事務取扱官廳ニ連絡シ「輸入組合發行ノ輸入承認書ナキ商品ハ輸入許可セサル」旨ノ方針ヲ求ムルコト

ハ、輸入組合ノ證明アルモノニ就テノミ北支聯銀ニ於テ爲替取組ヲ爲スコト

2、日本ニ於テ決定セル蒙疆向分ヲ含ムモノニ兩連絡部ニ於テ決定蒙疆分トシテ別ニ取扱フコト

3、天津、青島兩輸入組合ハ協議シ日本ニ於ケル對支輸出額ヲ區分

シ當該決定割當數量ノ範圍內ニ於テ輸入承認ヲ實施スルコト

イ、興亞院及天津、青島兩輸入組合ニ於テ箇々ノ商品ニ付過去一ケ年ノ實績及需要情況ニ依リ兩組合ノ割當量ヲ決定ス

ロ、各組合ニ於テハ右割當量ヲ日本輸出組合ノ期別割當ニ對應シ期別割當ヲ爲ス（大体原則トシテ四割ニ分チ商品ニ依リ特殊事情ニ應シタル取扱ヲ爲ス）

ハ、各組合ハ組合員ノ申請ニ基キ期別割當數量內ノ輸入承認書ヲ發給ス

ニ、毎月輸入報告ヲ爲サシメ確實ナル運行ニ資ス

4、組合ノ配給ハ興亞院指導ノ下ニ左ノ方法ニ依ルモノトス

イ、特需向ケトシテ優先的ニ考慮スルモノ

(1) 日本人用生活必需品配給組合（日本人生活必需品消費組合中國人用生活必需品消費組合ヲ含ム）

(2) 特殊工業用大口需要者

ロ、卸賣商配給組合又ハ市販向（中國商ヲ含ム）

ハ、組合ヨリノ配給數量及價格ハ別ニ定ムル數量及日本輸出價格ヲ基準トシテ各決定シ原則トシテ次ニ依ル

數量ハ聯合會ニ各商品別配給協議會ヲ設置シ關係官廳指導ノ下ニ決定ス

價格ハ天津又ハ青島G・I・F價格＋諸掛リ＋組合員手數料及組合統制手數料トス

ニ、毎月配給銷售ヲナサシメ統制ノ確實ナル運行ニ資ス

5、組合員輸入ヲナシタルトキハ一定統制手數料ヲ徵收シ組合ノ統制費ニ充ツ

6、イ、組合員現地需要者ニ對シテ販賣契約ヲ爲シタルトキハ所定調整料ヲ徵收ス

ロ、調整料ハ左ノ如ク定ム

倉渡シ價格ト卸市價トノ差額

(六) 北京物資對策委員會所管區域移出入物資ノ運送制限ニ就テ

華北交通テハ客年十二月二十七日ヨリ當分ノ間北京物資對策委員會所管區域移出入ノ會社所管鐵道、自動車及水運荷物（手荷物、小荷物及貨物）ノ運送ニ付左ノ通制限シタ

但シ軍用品ヤ社用品ハ此ノ限リデナイ

一 制限品

1、棒、鋼、型鑛、鋼板、軌條、管筒類、綜材（鋼線ヲ含ム）亞鉛引鐵線、亞鉛引鍍板類、各種鋼材及特殊鋼、有刺鐵線、引抜鋼管、金屬類（非鐵金屬其ノ他金屬製品ヲ含ム）

以上ハ中古品再製品共

兵器彈藥類、火藥、印刷機械（同用インクヲ含ム）電池、タングステン鋼、石綿、化學藥品（鹽酸、硝酸、苛性ソーダー、硝石、硫黄、鹽素加里、石炭酸、ベンゾール、トリオール、ナフタリン、グリセリン、硅素鐵、チヤコール、水銀、アンモニヤ等）製絲織機械、木材（代採ヲ含ム）

2、石油類（揮發油、燈油、機械油、重輕油）蠟燭、米類（麵粉類、雜糧粉類ヲ含ム）家畜類、紙類、石炭（コークスヲ含ム）

3、空瓶類、現地產米、小麥、棉花、棉實、麻、獸毛、皮革、毛皮

註一、兵器用現材料蒐集運送業務規定ニ基キ發給セラレタル證明書ヲ有スルモノ蒐集運搬ニ就テハ許可ヲ要セス

註二、現地產米ノ制限ハ涿縣、房山縣生產ノモノニ限リ實施サル

註三、皮革類ニハ生皮、鹽皮、乾皮、鞣皮、大襖、馬掛、褥子等

組合セ製品及其ノ屑皮ヲ含ム

註四、麻、獸毛中ニハ脫法ノ目的ヲ以テ移動センカ爲特ニ製作シタル製品ヲ含ムモノトス

二、取扱方

1、北京物資對策委員會所管區域移出入ノ場合

イ、第一號1ノ荷物ノ運送申込アリタルトキハ北京陸軍特務機關長發給ノ移出入許可證ノ提示アリタル場合ニ限リ之カ受託ヲ爲ス

ロ、第一號2ノ荷物ノ運送申込アリタルトキハ北京物資對策委員長發給ノ移出入許可證ノ提示アリタル場合ニ限リ之カ受託ヲ爲ス

ハ、第一號3ノ荷物ノ運送申込アリタルトキハ佐藤部隊又ハ板倉部隊發給ノ移出入ノ許可證ノ提示アリタル場合ニ限リ之カ受託ヲ爲ス

註 北京物資對策委員會所管區域トハ左ノ範圍ヲ謂フ

鐵道

京山幹線安定（安定ヲ含ム）以西各站

京漢幹線松林店（松林店ヲ含ム）以北各站及坨里、周口店各站

京包幹線南口（南口ヲ含ム）以東各站、環城線及大臺線各站

京古幹線及通州線各站

自動車

京山線邦均鎮（邦均鎮ヲ含ム）以西各停留所

邦喜線馬伸橋（馬伸橋ヲ含ム）以南各停留所

京津線東西莊以北各停留所

京古線各停留所

京南線南口（南口ヲ含ム）以東各停留所

京昌線各停留所

京保線松林店（松林店ヲ含ム）以北各停留所

長溝鎮線各停留所

周口店線各停留所

河南村線各停留所

豐臺線各停留所

京德第一號線各停留所

水運

北運河　通縣

2、北京城內搬出入ノ場合

イ、搬出ノ場合

著地各縣物資對策委員會發給ノ搬入許可證ノ提出アリタル場合ニ限リ之カ受託ヲ爲ス

ロ、搬入ノ場合

北京陸軍特務機關又ハ北京物資對策委員會發給ノ搬入許可證ノ提出アリタル場合ニ限リ之カ受託ヲ爲ス但シ左ノモノハ許可證ノ提出ヲ要セス

シャフト、レール附屬品、ボールト、リベット、ワイヤーロープ、トロ車輛、チンプレート、コンデットチューブ、ドラム罐、溶接棒、洋釘等

註一、イノ搬出トハ北京城內ヨリ北京物資對策委員會所管區域內へ搬出スル場合ヲ謂フ

註二、ロノ搬出トハ北京物資對策委員會所管區域內ヨリ北京城內へ搬入スル場合ヲ謂フ

註三、北京市城内ヨリ四郊ヘノ搬出ハ左記數量以内ニシテ確實ニ自家用品トシテ認メラルルモノハ許可ヲ要セサルモノトス

石油	一罐未滿
石炭	千斤
米類	一包（二百斤以内）
麵粉類	一袋
雜糧類	一石
雜糧粉類	百斤
蠟燭	一袋（大六本入）

3、其ノ他

本號1及2ニ依リ荷物ノ受託ヲ爲シタルトキハ許可證ノ發行機關名、發行月日及許可證番號ヲ運送關係書類記事欄ニ記入シ當該許可證ハ其ノ余白ニ受託月日及數量ヲ記入シ站長（若ハ營業所長）認印ノ上荷送人ニ返付スヘシ

本號1ニ依リ荷物ノ受託ヲ爲シタルモノノ中北京物資對策委員會所管區域ニ移入スル場合及本號2ニ依リ荷物ノ運送ヲ爲ス場合着站（若ハ營業所）ハ運送關係書類記事欄ニ許可證番號ノ記入アルモノニ限リ之カ引渡ヲ爲スヘシ

◎隨　筆

旅の手帖（濱本浩）

一等車にて

大連から哈爾濱まで私は特急アジアの一等車に乘つた。私はこの列車が冷房裝置を持つて居ることに驚嘆した。この車中ではお茶や濕タオルまで出るので非常に贅澤な氣がした展望車のクッションも柔かだし備付の圖書も適當な注意のもとに選ばれて居た。こんな列車なら世界の何處を運轉しても恥かしくないと他人事ながら誇りたいほどであつた。

然しながらその一等車の乘客は決して列車にふさはしい立派な人達ばかりではなかつた。新京のホームで私は友人に會ふために二、三分下車し歸つてみると私の坐席は四人の日本紳士によつて占領されて居た私が坐席に殘して置いた雜誌や手鞄は亂暴に網棚の上に投げ出されて居た。

私は呆氣にとられながら他に空席がなかつたので其處は私の席でありますと慇懃に挨拶した。すると其處に坐つて居た若い紳士は、あゝさうですかと云つて少し腰を浮かしたが向ひあつて居た上役らし

い紳士がいゝんだ、いゝんだ、其處に居ろと云つて押しとめた。

何と云ふ無法な客であらう。私は暫く立ちすくんでその四人を睨みつけながら、これが日本人同志であつてよかつたと思つた。日本人同志だから個人的な感情だけで済むのであると、冷汗を流す氣持で展望車に來てみると、そこには獨逸人らしい客が二人と、アメリカ人らしい男女の三人連れがゐた。すると席を並べた日本人の客が何う云ふ話をして居るのか知らないが、頻りに「毛唐は、毛唐は」を繰返して居る。

私は日本人が、かつてアメリカ人からジャップと呼ばれて不愉快に思つたことを知つて居る。日本語の解らない外人でも「毛唐」の意味くらひは知つて居るかも知れない。

特急アジアが歐亞をつなぐ國際列車であることを東滿の同胞紳士達にもう一度考へ直して貰ひたいものである。

乗物

何と云つても滿洲では洋車と云ふものがあつて甚だ便利である。殊に南滿では形狀も日本の人力車そつくりだし、賃銀も安くて氣輕に乗れ有難かつた。

連鎖街のバアで少し位ひ醉拂つても二十錢出せばホテルの車寄せへ横付けにしてくれる。散歩好きの僕は、あてなしに脚の向くが儘にぶらぶらと歩いた、歩き疲れると、そこいらに居會はせた洋車に乘つてホテルの名さへ云へば何んな所からでも歸ることが出來た。奉天の洋車は自轉車式の三輪車で、なかなかスマートに見へ賃銀も大連と大して違ひはないが、車夫がまるで日本語を解しないで厄介である。

ある日奉天驛から滿洲日日新聞に行かうとしたが、どうしても言葉が通じないのみか私が奉天の地理をまるで知らぬので困つた。思案に餘つた末、手帖に滿洲日日新聞と書いて見せると稍々物の解りさうな年配の車夫が合點をして乘れと云ふので乘つたが、何うも町の様子がをかしい。新聞社なら表通りにありさうなものだが裏町みたいな所を曲り曲つて、さて連れて行られたところは某町の販賣店だつた。なるほど軒先には大きな新聞看板が出てゐた。

哈爾濱の洋車は梶棒がひどく長く持ち上げると車の胴が仰向けに倒れ乘心地が悪い上に賃銀だつて、べらぼうに高く南滿の二倍はたつぷりとられる

洋車ばかりでなく，馬車でも自動車でも，總て乘物の高いことは同じである。以前は十錢均一の乘合圓タクがあつたさうだが，この頃ではそれをやつて居たオープンのぼろフオードが，市内二圓五十錢のタクシーに轉じてしまつたさうで乘ることが出來なかつた。

露西亞人の運轉手は割合に正直だし，日本語も解るが，滿人の拉車的と來ては足もとを見て附け込なし，それに全々日本語のわかる者がなくてヤマト。ホテルと云つてさへ通じないから困つた。

東滿の間島省では車夫を呼ぶのに，滿語的のニーヤでなく朝鮮流のヨボであるほど朝鮮的であつて，心配しなくても先方から「旦那，車は如何ですか」と立派な日本語で話しかけてくれるから安心である。但し何う云ふわけか馬車屋はたいがい滿人で日本語が通ない

南滿の馬車は不潔でも，おんぼろでも車體にゆとりがあり，乘るにも足掛があつて助かるが，輓馬は概ね痩馬の一頭立てであつて午後が來ると馬が疲れて走らぬ，これを叱咤する馭者の革鞭が，町の騷音を破つて激烈に鳴り馴れぬ私などは少からず神經に觸つた。

南方でも旅順は二頭立てで，馬も草競馬の花形だつた逸物が混つて居る。これは山地の多い戰蹟廻りに使用するためであるが，山地を

走らすと馬車でも半日五、六圓はとられる。
ある日水師營に住む友人達と馬車を傭ふて旅順から東雞冠山へ往復しただけで五圓何十錢かをとられた。少し高過ぎるやうだがと笑ふと、二人の友人は頭を掻き、いや此の馬にはだいぶん恩がある五圓では安いと云つた。蓋し兩君は競馬狂でこの輓馬は曾て旅順競馬の花形だつたらしい。
哈爾濱に行くと馬はアラビヤ系の逸物があり、馬具もなかなか美事だが車體が貧弱で馭車と相乘りのものもある。
馬車は車體より輓馬に魅力があると見へ私達も屢々呼びとめて、目的なしのドライヴを試みた。但し此の地方では南方なみに三十錢や五十錢では乘れない。二粁も走らすと一圓五十錢が通り相場である。哈爾濱で耳につくのは鞭聲でなく、敷石路を戞々と走る馬蹄の響である。夜更けや霧の町に聞える馬蹄の音はリズミカルでなかなか氣持がよろしい。
松花江のボートに就ても語るべきだが紙數が盡きたので擱筆しなければならぬ。

(滿洲グラフより)

（編集委員より）

[illegible]